

特別セミナーご案内

神経疾患の緩和医療と QOL（第4回緩和ケアセミナー）

「神経疾患の緩和医療（Palliative Care in Neurology）」

講師：デイヴィッド オリバー（David Oliver）医師

今回、横浜で開催される国際 ALS/MND シンポジウムのために来日されるデイヴィッド オリバー（David Oliver）先生をお迎えし、神経難病関連の二つの研究班が、共催で、神経疾患の緩和医療を考えるセミナーを企画しました。オリバー先生は、「ALS の緩和ケア」（Palliative Care of Amyotrophic Lateral Sclerosis）はじめ多くの神経難病と緩和医療に関する著書のある臨床医です。横浜での国際シンポジウムに関連したセミナーとして、「神経疾患の緩和医療（Palliative Care in Neurology）」についてご講演していただきます。講演は英語ですが、スライドとハンドアウトは英語/日本語併記とする予定です。

神経変性疾患など難病の診療、保健、福祉、行政、研究に携わる多専門職種の方や患者を支援されている方のご参加を期待致します。

なお、参加費は無料ですが、準備の都合上、ご参加予定を下記の研究班事務局（岩崎あるいは大橋/神垣）まで e-mail 等でお知らせ下さい。

共催：厚生労働省難治性疾患克服研究事業

「特定疾患の生活の質（QOL）の向上に関する研究班」（主任研究者 中島 孝）

「神経変性疾患に関する調査研究班」（主任研究者 葛原 茂樹）

記

日時：平成18年12月3日（日曜日）14:00～15:30

場所：東京大学本郷キャンパス山上会館

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/index_j.html

本郷キャンパス施設案内図を参照下さい。

交通：地下鉄丸の内線、本郷三丁目駅下車、または地下鉄南北線東大前駅下車

対象者：難病医療の携わる保健・医療・福祉従事者、関係する行政担当者、教育者、研究者、難治性疾患克服研究事業の研究班員、学生、ボランティア、患者を支援している団体、個人など

連絡先：

- 独立行政法人 国立病院機構新潟病院 神経内科「特定疾患患者の生活の質（Quality of life, QOL）の向上に関する研究班」事務局 岩崎まで

TEL/FAX：0257-22-2130（直通）、TEL：0257-22-2126（内線1259）

e-mail: hiwasaki@niigata-nh.go.jp

または

- 三重大学医学部神経内科「神経変性疾患に関する調査研究班」事務局 大橋/神垣まで

Fax 059-231-5082, Phone 059-231-5107

e-mail: s-hensei@clin.medic.mie-u.ac.jp

特別セミナー：神経疾患の緩和医療と QOL（第 4 回緩和ケアセミナー） プログラムと講師ご紹介

「神経疾患の緩和医療（Palliative Care in Neurology）」

（12 月 3 日（日曜日）14:00～15:30 東京大学本郷キャンパス，山上会館）

プログラム

開会挨拶（14:00）：葛原茂樹（三重大学）

14：05～15：30 座長：中島 孝（新潟病院）

「神経疾患の緩和医療（Palliative Care in Neurology）」

講師：デイヴィッド オリバー（ロチェスターホスピス，英国ケント州）

閉会挨拶（15:30）：成田有吾（三重大学）

講師紹介：

デイヴィッド オリバー先生（Dr. David Oliver）

現在，デイヴィッド オリバー先生は，英国，ケント州，ロチェスターのウィズダム ホスピスの医療責任者兼，緩和医療学の上級指導医で，また，カンタベリーにあるケント大学のケント医療・健康科学研究所の緩和医療学名誉上級講師である。

オリバー先生は，1975 年，大学で科学を修めた後，1978 年ロンドンの University College Hospital で MB BS を得て，総合診療医としての研修を積み，ロンドンの聖クリストファーホスピスに進み，1982～1984 まで同ホスピスにて前期および後期専門研修の後，1984 年に現職。

彼は，1999 年にケント医療・健康科学研究所の緩和医療学名誉上級講師となり，また，フランス，リール大学とケント大学間の共同研究である大学間連携研究で，緩和と支援ケアの修士学位および慢性疾患の緩和ケアの修士学位の研究指導責任者に任ぜられている（現在まで継続）。また，彼は，クロアチアのザグレブ大学医学部の客員教授でもある。

彼は，英国のみならず，クロアチア，ポーランド，米国，オーストラリア，南アフリカ，イタリアおよびニュージーランドなど，広く世界各地で運動ニューロン疾患と緩和医療に関する講演を行ってきた。この功績により，2003 年国際 ALS/MND 協会から人道的活動賞（the Humanitarian Award）を贈られている。

彼には，運動ニューロン疾患患者の緩和ケアと症状コントロールについての広範な著作がある。Oxford University Press から 2000 年に出版され第 2 版が本年刊行される「ALS の緩和ケア」（Palliative Care of Amyotrophic Lateral Sclerosis）では編集責任者であり，2004 年刊行の「原発および転移性脳腫瘍」（Primary and Metastatic Brain Tumours，Oxford University Press 刊）では顧問編集者，同じく 2004 年刊行の「神経学の緩和ケア」（Palliative Care in Neurology，Oxford University Press 刊）では共同編集者 6 名のうちの一人である。